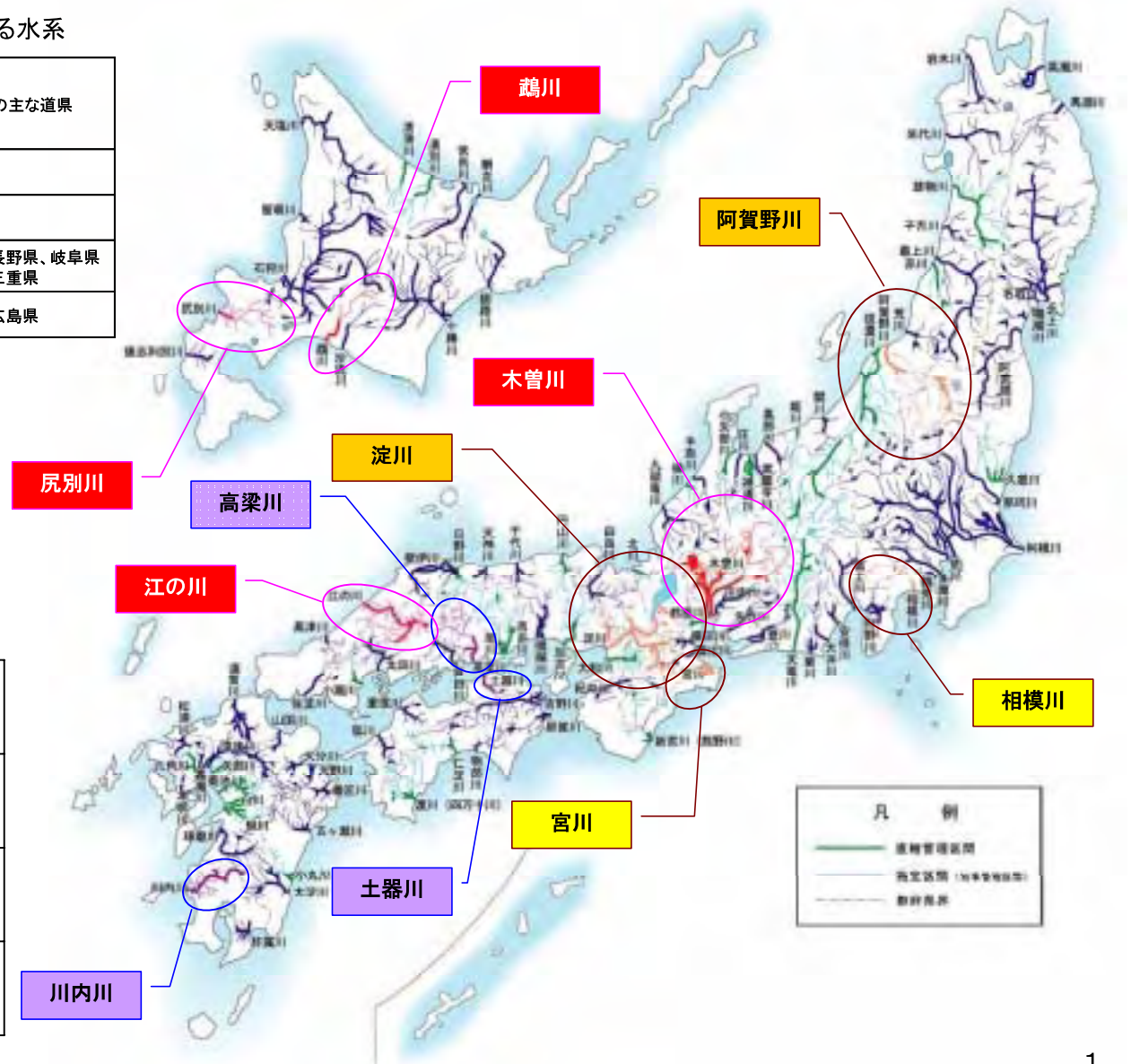


今後の河川整備基本方針の策定について 資料6

新たに基本方針検討小委員会で審議を開始する水系

水系名	流域面積 (km ²)	幹川流路延長 (km)	流域内人口 (千人)	想定氾濫区域内人口 (千人)	流域の主な道県
尻別川	1,640	126	39	6	北海道
鷓川	1,270	135	13	5	北海道
木曾川	9,100	229	1,925	2,605	愛知県、長野県、岐阜県、滋賀県、三重県
江の川	3,900	194	202	49	島根県、広島県



	本日の河川分科会での審議水系	3水系
	新たに基本方針検討小委員会で審議を開始する水系	4水系
	基本方針検討小委員会で審議中の水系	4水系
	河川整備基本方針策定済み水系	70水系

木曾川水系

流域及び氾濫域の諸元

- 流域面積 : 9,100km²
- 幹川流路延長 : 木曾川 229km
長良川 166km
揖斐川 121km
- 流域内人口 : 190万人
- 主な市町村 : 岐阜市、大垣市、桑名市

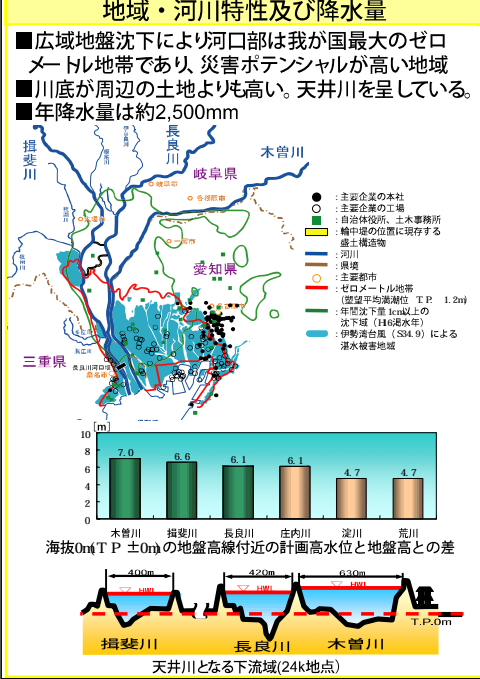
- 想定氾濫区域面積 : 1,206km²
- 想定氾濫区域内人口 : 260万人
- 想定氾濫区域内資産額 : 38兆円

工事実施基本計画

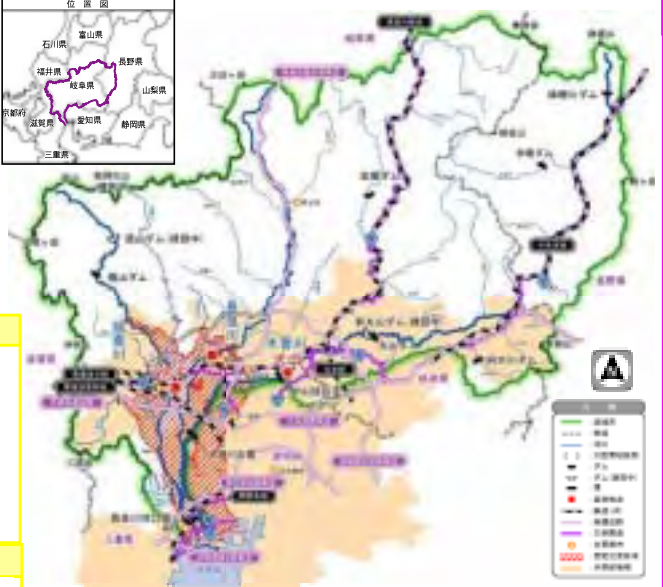
木曾川 : 対象降雨量 275mm/2日 (1/100)
基本高水ピーク流量 : 16,000m³/s (犬山)
計画高水流量 : 12,500m³/s (犬山)

長良川 : 対象降雨量 360mm/2日 (S35.8既往最大)
基本高水ピーク流量 : 8,000m³/s (忠節)
計画高水流量 : 7,500m³/s (忠節)

揖斐川 : 対象降雨量 395mm/2日 (1/100)
基本高水ピーク流量 : 6,300m³/s (万石)
計画高水流量 : 3,900m³/s (万石)



- 中京圏の産業・人口・資産が集積する濃尾平野を貫流する。河口部は、広域地盤沈下による我が国最大のゼロメートル地帯であり洪水及び地震による災害ポテンシャルが高い。近年も洪水被害が発生。
- 流域を越えた水供給により中部圏の経済・物づくりを支えている。平成6年には深刻な渇水が発生。
- 伝統文化を育む豊かな自然、文化遺産、景勝地が多数存在し、さらに河川利用が盛ん。



治水対策

■ 既往洪水を安全に流下させるため ダム建設や河道掘削等を実施中

木曾川 : 新丸山ダム建設中 (平成28年度完成予定)

長良川 : 長良川河口堰完成 (平成7年度)
中流部河道掘削予定

揖斐川 : 徳山ダム建設中 (平成19年度完成予定)
中流部河道掘削中

● 徳山ダム

● 新丸山ダム (建設中)

● 長良川河口堰

主な洪水被害

■ 近年においても洪水被害が多数発生

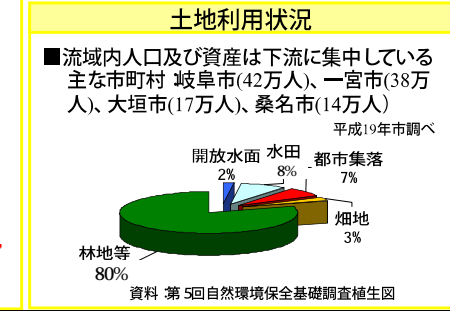
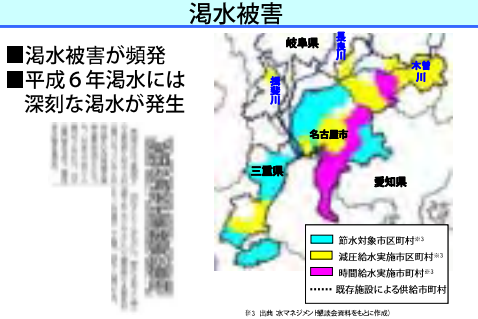
木曾川		
洪水名	実績流量 (m ³ /s)	被災家屋 (棟)
S58.9	14,100	4,588

長良川		
洪水名	実績流量 (m ³ /s)	被災家屋 (棟)
S51.9	6,400	59,355
H16.10	7,700	1,297

揖斐川		
洪水名	実績流量 (m ³ /s)	被災家屋 (棟)
S50.8	4,200	215
H14.7	4,200	738

● S58.9美濃加茂市街 (木曾川)

● H16.10郡上市美並町 (長良川)



河川環境

- 長良川中流域では、伝統文化を育む豊かな自然が存在
- 木曾川下流域には、歴史的な治水事業による土木遺産、景勝地が多数存在
- 木曾川中流から下流では河川空間の利用が盛ん

木曾川のケレップ水制群

国営木曾三川公園 (河川環境楽園)